

・新型コロナウイルスの患者数が9人に

中東で流行している新型コロナウイルスの患者数は11月下旬までに9人になりました(WHO Global Alert and Response 2012-11-30)。新たに確認された患者のうち2人は、今年の4月にヨルダンで発生しており、いずれも医療関係者とのことです。もう1人はサウジアラビアで発生した患者で、既に確認されていた患者の家族でした。この結果、国別の患者発生数はサウジアラビア5人、カタール2人、ヨルダン2人になり、全患者9人のうち5人が死亡しています。

今回、ヨルダンで患者が確認されたことにより、このウイルスの流行地域は従来のサウジアラビアやカタールだけでなく、中東全域に広がっている可能性があります。また、医療関係者や患者家族に感染者が発生していることは、このウイルスがヒトからヒトに感染していることも想定されます。その一方で、今年の4月から流行が発生していたとすれば、このウイルスの拡大速度はあまり速くないものと考えられています。いずれにしても、新型コロナウイルスについては今後も厳重な監視が必要です。

・中国・北京で狂犬病患者が増加

2012年に中国の北京では狂犬病患者が13人発生しました(Pro MED 2012-12-11)。2011年は患者数が5人であり、倍増しています。患者の大多数は飼い犬に咬まれて発病したものです。中国では飼い犬への狂犬病ワクチンの接種が充分に行われていません。このため中国滞在中は飼い犬に咬まれた場合でも、狂犬病発病予防のためのワクチン接種を受ける必要があります。

・アジアでの Dengue 熱流行状況・・・インドは患者数倍増

インドでは本年1月から11月末までに37000人の Dengue 熱患者が発生し、このうち200人以上が死亡しました。2011年の患者数(18000人)と比較すると倍以上になっています(Pro MED 2012-12-9)。とくに患者数が多かったのが南部のケララ州で、首都のデリーでも1900人以上の患者が確認されています。また、隣国のスリランカでも12月初旬までに39000人の患者が発生した模様です。

東南アジア諸国での Dengue 熱の流行は今のところ鎮静化しています(WHO Western Pacific Region HP 2012-11-28)。しかし、これからインドネシアやシンガポールが雨季を迎えるため、これらの地域で患者数増加が予想されています。

・米国、カナダでインフルエンザが本格的流行

WHOの発表によれば、米国とカナダで季節性インフルエンザが本格的な流行をおこしています(WHO Influenza HP 2012-12-21)。米国では例年より早い時期の流行で、ウイルスのタイプはA香港型(H3N2)が多く、B型も一部にみられています。カナダではA香港型が大多数です。ヨーロッパや東アジアではまだ本格的な流行が発生していません。なお、日本の厚生労働省は12月21日に国内がインフルエンザ流行シーズンになったことを発表しました。ウイルスのタイプはA香港型が多くなっています。

日本のインフルエンザワクチンに関して、「海外滞在中のインフルエンザ予防にも有効か？」とのご質問をしばしば受けます。インフルエンザワクチンの成分は北半球各国でほぼ共通しており、今季、国内で受けていれば、とくに追加接種の必要はありません。